

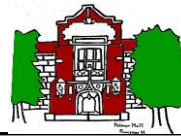
# な か ま

プリンストン日本語学校(補習校部)

平成24年度 No.04号

平成24年 4月29日

文責 長尾重範



新緑の爽やかな空気を胸いっぱい吸い込もう!

聴きたくて 若葉の騒ぎ 採りに行く  
おれの蜜 いやおれの蜜 鳥ハトル

俳句コンテストに入賞!! (UNIS主催)

JASL1 アマガス カットシ、マホン フィン  
ワッツ 明、カレン ジェイミー  
フランクリン 洋子、もりしま めい

JASL3 施 カイル、ピングル クリス

プリンストンコース小

ハル ジェイコブ、レイ アレクサンドラ  
ペアノ ジュリア

おめでとうございます。感動がぎゅっと詰まった作品は次回に紹介します。

「千里の道も一歩より」

入学式でお話ししました「継続は力なり」に通じる教訓(老子の千里行始足下も同じ)です。

「決意」は、失敗した後とか正月とか、誰でもどこでも、いつでもすることができます。ところが良く観察してみると、決意した誰もが決意の通りに成功しているわけではないことが分かります。

そして、自分でも、決意してその通りになったこともあり、途中でだめになったこともあります。続けることこそ唯一、決意を成功に導いてくれることを実感しています。

本当に卑近な例ですみません。70kg前後で推移しいつもわが腹を忌々しく見つめながらどうしても減量できないでいた私が、ほぼ毎日散歩をはじめようになり半分で約65kgに安定するようになりました(正月など少し油断すると直ぐに元に戻りそうになるのは辛いものですが)。

読書の例だとよくわかります。寝る前とかに、毎日続けて本を読んでいると、いつの間にかそれがいかに分厚くても読み終わっていることに気がつきません。その習慣を維持できる人は、非凡であると言えるかもしれません。それほどに、一歩一歩を歩み続けることは簡単そうで、じつは大変なことです。「三日坊主」を克服した人は、非凡に一歩近づいていると言えるかもしれません。

毎日、または数日おきに続けることこそが、自分にとって偉大な歴史を築く第一歩になるのです。それは語学の勉強には、特に大事なことなのではないでしょうか。

トルコ大使館からトルコの子どもの日招待のご案内です。ニューヨーク近郊で国際交流に関心のある方で参加希望がありましたら、教えてください。 6:30-7:30pm, May 2 2012 in NLB, Ground Floor, UN

## 行事予定表

5月(さつき)

6日 授業参観、懇談会

5月13日 授業参観、懇談会

5月20日 運動会予行練習

5月27日 運動会予行練習

6月 3日 運動会



授業参観と懇談会の日程は次の通りです。

6日 小学部5・6年 1校時授業参観 2校時懇談

中学部 3校時授業参観 4校時懇談

プリンストンコース中高 3校時授業参観 4校時懇談

13日 小学部1・2年 1校時授業参観 2校時懇談

小学部3・4年 3校時授業参観 4校時懇談

プリンストンコース小 3校時授業参観 4校時懇談

「百聞は一見に如(し)かず」(1)

Seeing is believing.

「人生、長生きするもんだ。こんなうまいものが食べられて」とは祖母の口癖でしたが、今の年寄りはそのようなことはきつと言わないだろうと想像します。日常的に欲しいものがいつでも得られる時代では、感慨深く感動と共に味わうことは少ないかもしれません。でも、どんな時代になっても、大きな感動と共に生きたいものだと思います。

図書館に行き、先生に聞き、難儀して本屋に求めている情報が、ITの恩恵によっていともたやすく手に入るようになり、知りたい情報を求めるのに多大な時間がかかっていた頃と思い合わせて、その労力の違いに呆然とするほどです。本当に便利な時代になりました。世界遺産の指定を受けた地方を旅したいと思えば、そこに行かなくても、快晴の日に最高の場所から見ているような、素晴らしい動画で風景を鑑賞できるので、そこに行かなくても様子がよく分かります。

ですから、カウチポテトよろしくな不自由なく、PCを友として生活できればすべて満足を得られそうです。本当に良い時代になりました。そして、食物摂取の改善(強く長く嘔む必要がなくなった)によって、顔の形が変化してきたように、私たちは、これから五感の一部を鈍化させるように進化していくのでしょうか。それはきつと否でしょう。感動を疑似的なものによって得られるようになって、真の直接的な感動に代わるものはないと思います。

素朴な感動こそが、私たちの生きる原点であり、喜びです。これからそれらのことを思いながら「百聞は一見に如かず」を折々に紹介していきます。